

製品名: UBE4A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19536**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	122kDa

抗原情報

遺伝子名	UBE4A
別名	UBE4A; KIAA0126; Ubiquitin conjugation factor E4 A
遺伝子 ID	9354.0
SwissProt ID	Q14139
免疫原	ヒト UBE4A の N 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

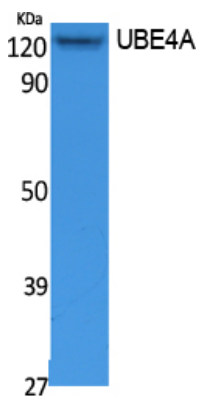
この遺伝子は U ボックスユビキチンリガーゼファミリーのメンバーをコードします。コードされているタンパク質はマルチユビキチン鎖の組み立てに関与し、セキューリンのポリユビキチン化を介して染色体の凝縮と分離に重要な役割を果たします。コードされてい

るタンパク質に対する自己抗体は、強皮症およびクローン病のマーカーとなる可能性があります。この遺伝子の偽遺伝子は 3 番染色体長腕に位置しています。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 2 月],機能: 既に形成された複合体のユビキチン部分に結合し、E1、E2、および E3 と連携してユビキチン鎖の組み立てを触媒します。、配列注意: 配列の汚染。潜在的なポリ A 配列。、類似性:ユビキチン結合因子 E4 ファミリーに属します。、類似性:1 つの U ボックスドメインを含みます。、

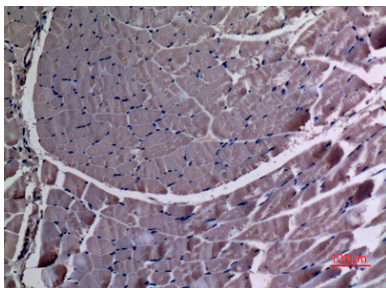
研究分野

ユビキチンを介したタンパク質分解;

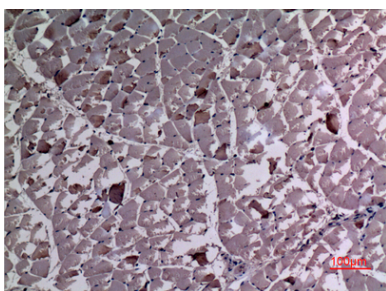
画像データ



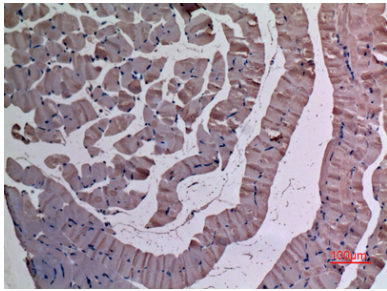
UBE4A ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ラット筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された